

山口大学医学部&附属病院から笑顔と情報を発信!

山/大/医/学/部

Yamaguchi University Faculty of Medicine and Health Sciences / Yamaguchi University Hospital

病/院/だ/よ/り

8

2024

Vol.266



ホスピタルアート/保手濱拓『わらい』



第79回 日本消化器外科学会総会 「高校生招待企画」開催

総会会長 永野浩昭教授自ら
13名の熱き消化器外科教授を山口に招集
応募高校生84名から39名を招待



令和6年7月19日(金)



参加された教授	瀬尾 智 教授 (高知大学)	丸橋 繁 教授 (福島県立医科大学)
榎田 祐三 教授 (愛媛大学)	内藤 剛 教授 (北里大学)	水野 修吾 教授 (三重大学)
大塚 隆生 教授 (鹿児島大学)	日高 匡章 教授 (島根大学)	山崎 誠 教授 (関西医科大学)
押切 太郎 教授 (愛媛大学)	日比 泰造 教授 (熊本大学)	渡邊 純 教授 (関西医科大学)
五井 孝憲 教授 (福井大学)	藤井 努 教授 (富山大学)	(五十音順)

参加した教授と高校生に聞きました



日高匡章 教授

●今回の高校生招待企画についてどう思いますか。
医学部に入學し、医師を目指す若者の中で、外科医になりたいという人は少ないのが現状です。本企画を通して外科医の魅力を一人数でも多くの高校生に伝えられたらと思っています。



教授対談では、とても気さくにお話をしていただき、進路で迷った時のアドバイスもいただきました。外科医の仕事はとてもやりがいがありそうで興味がわきました。(山口県立宇部高等学校2年)



対談後には本講座の外科医の指導の下、手術手技の体験をしました

外科医は厳しい先生が多いのかなと思っていましたが、実際に参加してみると優しい先生ばかりだったので随分イメージが変わりました。(宇部フロンティア大学付属香川高等学校2年)

手技体験をしてみて、外科医は器用さが求められる難しい仕事だと実感し、尊敬の気持ちが高まりました。教授対談では「人とのつながりを大切に」と教えていただきました。(慶進高等学校2年)



永野浩昭総会会長による挨拶

特別企画「教授対談」を初開催
当日は、永野教授の熱い志に賛同した13名の教授が全国から下関市民会館に集結しました。本総会では、特別企画として「高校生招待企画 Project for future surgeons」集え！未来の外科医！結び！外科医の魂」を開催し、医師の仕事に興味がある高校生を招待しました。山口県内および北九州の高校10校から84名の応募があり、そのうち39名が全国の大学から集まった13名の教授と対談しました。
本学大学院医学系研究科消化器・腫瘍外科学講座主催の「第79回日本消化器外科学会総会」を下関市で開催しました。消化器外科医は地域医療の安心・安全を支える重要な役割を担いながらも、医師が不足しているという深刻な現状があります。これを打破するため、本講座の教授であり、本総会会長も務める永野浩昭教授が全国の教授に呼びかけ、本総会に招待した高校生と対談する特別企画を開催しました。

消化器外科医の魅力を知ろう

教授対談では、高校生たちが3名ずつ13のグループに分かれ、1グループに教授1人が席に着き、学生たちと対談しました。普段、大学の教授と話をする機会がほとんどない高校生たちは、消化器外科医の仕事がどういったものか、その仕事内容や魅力、やりがい、奥深さなどについて、教授の話に興味深く聞いたり、質問したりしていました。



鈴木初音『芽吹く』 B棟1階 エレベーターホール

フレスコ技法の一種、グラフィートにより、繊細な生命と自然の豊かさを表現した作品です。土地から生まれた恵みを素材とし、ストーリー性豊かな自然の循環を描いています。

ホスピタルアート 続々設置中

本院では、2016年の病院再開発整備事業の開始以降、患者さんに心安らぐ空間を提供するため、ホスピタルアートの設置に取り組んでいます。

今回、複数の作品を設置したB棟では、1階のエレベーターホールにフレスコ技法の一種、グラフィートで描いた鈴木初音さんの作品を展示しました。クロスラウンジには山口的の自然環境や季節の移り変わりを捉えた写真を基にしたデジタルアートを、3〜10階のエレベーターホールには地元ゆかりのあるアーティストによる作品を展示しました。

本院では2025年夏までにさらにホスピタルアートを設置していく予定です。



mole^3『re-pixcells』

B棟1階 クロスラウンジ

山口的の地域性や自然環境を捉えた写真を分解、生成し、再生するデジタルアートです。協力：山口情報芸術センター「YCAM」



吉田朱里『昼と夜』

B棟7階

金子みすゞの童謡詩『昼と夜』の詩とともに展示しています。アクリルとオイルパステルで表現した作品です。



末永史尚『動き出す』

C棟3階

2016年の病院再開発整備事業の際に患者さんやご家族、職員、アーティストによる協働で制作した作品を再構成。640枚の絵でつくる10点のタングラムです。



保手濱拓『わらい』

B棟5階

アクリルと水彩、水性ペンを用いて、金子みすゞの童謡詩『わらい』の世界観を表現しています。

HOSPITAL
ART

世界保健機関(WHO)制定

毎年5月31日は「世界禁煙デー」

〔令和6年5月23日(木)～6月6日(木)〕

世界禁煙デー&禁煙週間のPRイベントを実施

毎年5月31日は世界保健機関(WHO)が制定した世界禁煙デーで、5月31日～6月6日は禁煙週間です。これに合わせて当院では次のPRイベントを実施しました。

【ライトアップ】

A棟1階オーデトリアムのロータリー側で、受動喫煙防止のシンボルカラーであるイ



イエローグリーンライトアップ(5月23日～6月6日)

エローグリーンのライトアップを実施しました。この色には「受動喫煙をたくない・させたくない」気持ちが込められています。

【院内マルシェで禁煙啓発】

5月28日(火)にクロスラウンジで開催されたマルシェの会場において、禁煙ポスターの展示とリーフレットの配布を行いました。

【吸い殻クリーン作戦】

医学部と附属病院では合同で「吸い殻クリーン作戦」を実施し、吸い殻などの清掃を行いました。また、禁煙ポスターを掲示するとともに、禁煙推進のポケットティッシュなどを配布しました。



吸い殻クリーン作戦(5月31日)

TOPICS

能登半島地震 被災地での支援活動に対して

D MAT隊員らに感謝状を贈呈 〔令和6年6月5日(水)〕

令和6年能登半島地震の被災地において本院のDMAT隊員ら12名が行った支援活動に対し、厚生労働省医政局長より本院に感謝状が授与されました。

これを受けて、松永和人病院長からもDMAT隊員らに対し、労いと感謝の言葉とともに感謝状を贈呈しました。

今後も災害拠点病院として緊急時に速やかに対応できるよう、準備・訓練等の活動を継続していきます。



松永病院長(手前左から2人目)と被災地支援活動に参加した職員

令和6年度

令和6年6月17日(月)

病院優良職員表彰 伝達式



表彰された白石さん(左から2人目)

「病院優良職員表彰」は、社団法人山口県病院協会から県内の病院に従事する勤務成績の優秀な病院職員に贈呈されるものです。

伝達式では、松永病院長から受賞者に表彰状が授与され、永年の病院に対する貢献及び今後のさらなる活躍を期待する旨の祝辞がありました。原田美佐看護部長、阿部久美副看護部長も同席し、受賞を祝しました。

受賞者：看護部看護師 白石景子

TOPICS



お仕事紹介

看護部編①

本院には、日本看護協会が認定した、より質の高い看護が実践できる「認定看護師」が多く在籍しています。豊富な実践経験を持ち、看護部の理念である「あたたかい看護の探求と実践」を実現する認定看護師をリレー形式で紹介します。

乳がん看護認定看護師

本田紫子さん



Q. お仕事の内容について教えてください。

乳がんには手術療法・薬物療法・放射線療法・乳房再建など集学的な治療が行われ、その期間は長期にわたります。その治療過程のなかで患者さん一人ひとりがその人らしく治療に臨むことができるよう、心理的なサポートや治療選択の支援、治療に伴う副作用への対処方法の指導や相談、外見へのケアなど幅広い役割を担っています。

Q. 看護を実践する上で気を付けていることは。

患者さんの想いや考えをきちんと聞くことを大事にしています。そのために、こういった言葉をかけるのが良いかを常に

考えています。タイミングがとても大事で、「今、話を聞かなきゃいけない」と思った時は、業務調整をして患者さんと向き合うようにしています。

Q. ご自身にとって「看護」とは。

「患者さんの持つ治癒能力を最大限に発揮できるように生活過程・環境を整えること」を常に意識し、看護師として大切に日々実践しています。患者さんお一人お一人がその人らしく過ごしていけるように寄り添い、QOL(生活の質)の向上を目指して必要なサポートを行っていくことが自分の務めだと考えています。



将来どうする?!真剣に耳を傾ける学生たち

キャリアナビゲーションとは、山口大学医学部附属病院の各診療科(部)の研修の特徴や教育体制、キャリアサポートについて詳しく聞くことができるイベントです。会場に設置した各診療科(部)のブースにおいて、経験豊富な医師や若手医師と気軽に話すことができます。会場には軽食やスタンプラリーもあり、参加した学生には記念品としてヤマミイグッズをプレゼントしました。参加した66名の学生は各診療科(部)の先生の話に、真剣に耳を傾けていました。

しっかり知って決めよう
令和6年6月13日(木)
キャリアナビゲーション
in 山を大を催

研究紹介

Research Activities



COVID-19ワクチン接種後の免疫反応の多様性(個人差)と相関するヒト側の要因調査

山口大学医学部呼吸器・健康長寿学講座

角川智之 特命教授

医学部呼吸器・健康長寿学講座の角川智之特命教授らからなる研究グループは、医療法人和同会防府リハビリテーション病院、医学部呼吸器・感染症内科学講座、国立病院機構山口宇部医療センターと共同で、高齢者施設入居者や医療従事者を対象に、COVID-19 ワクチン接種前後の液性免疫反応および細胞性免疫反応を約1年間にわたって縦断的に調査し、免疫反応の個人差と相関するヒト側の要因を探索しました。

COVID-19 ワクチン接種後の免疫反応には大きな多様性(個人差)が認められました。年齢は免疫反応と負の相関を示しましたが、「PS 不良」や「低アルブミン血症」は、加齢以上に液性免疫反応不良と強く相関していました。一方、高齢者や身体活動性が低い方、栄養状態が不良の方でも、ブースター接種により若年健常者と同等レベルまで液性免疫反応を向上させることができることを示しました。

角川特命教授は「世界全体で高齢化が進むなか、高齢者

における呼吸器感染症の予防戦略を構築することは極めて重要な課題です。皆が生涯を通じて健康な生活を送ることができる社会を目指し、今後も臨床研究を進めてまいります」と話しました。

これらの研究成果は、国際学術誌「Immunity & Ageing」に2023年および2024年にそれぞれオンライン掲載されました。

詳しくはこちらから →



栄養治療部発

元気のみなもと

Genki no Minamoto



Recipe

元気の源は食事から。ということで、
患者さんの食事をサポートしている栄養治療部より、
栄養バランスを考慮したおすすめ料理を紹介します。
ご家庭でぜひ作ってみてください。

【栄養治療部より】
大人から子どもまで人気の高いハンバーグは、病院の治療食では一から肉をこねて、真心こめた煮込みバージョンで提供しています。



病院食ができる様子を
山口大学病院YouTubeで
紹介しています

本日のメニュー

ヘルシー 煮込みハンバーグ

栄養成分(1人分)

エネルギー	177kcal
たんぱく質	14.7g
脂質	7.0g
食塩相当量	1.9g

※外食で食べるハンバーグのエネルギー量を約65%カットしています。

材料(4人分)

肉だね

若鶏ひき肉(皮引き)……………240g	パン粉……………40g
※鶏ささみをフードプロセッサーにかけて代用してもOK	牛乳……………15g(大さじ1)
玉ねぎ……………100g(約1/2個)	食塩……………1g(軽くひとつまみ)
バター……………4g	こしょう……………少々
卵……………25g(約1/2個)	小麦粉[肉形成用] 8g(大さじ1弱)
	食物油……………5g(小さじ1)

煮込み用調味液

トマトケチャップ…60g(大さじ3強)	ブイヨン……………3g
ウスターソース…20g(大さじ1強)	水……………100g
マッシュルーム[缶詰]……………40g	バター……………4g



作り方

- ① 玉ねぎのみじん切りをバターで炒め、冷ましておく。
- ② ひき肉に①の玉ねぎと卵・パン粉・牛乳・食塩・こしょうをいれ、粘りが出るまで手でこねる。
- ③ ②を小判型に形成し、小麦粉をつけて整える。油をひいたフライパンで表面をこんがり焼く。
- ④ 煮込み用調味液をフライパンへ入れ、ふたをして弱火で20分程度煮込む。
- ⑤ お皿に盛り付け、乾燥パセリを振りかける。

家庭での
時短
ポイント

- ★玉ねぎは生のまま使ってもOK。
その場合、バターは煮込み用調味液に加えましょう。
- ★深めのフライパンを使うと「焼く」と「煮込む」がひとつででき、洗い物も少なくすみます。



Information

山口大学医学部案内を
創刊しました。

詳しくはこちら→



公式FacebookとInstagramで
山大医学部・病院の情報を発信中



Facebook



Instagram

企画発行 | 山口大学医学部広報委員会 / 山口大学医学部総務課広報・国際係
〒755-8505 山口県宇部市南小串一丁目1番1号 TEL 0836-22-2111
医学部 <https://www.yamaguchi-u.ac.jp/med/>
附属病院 <http://www.hosp.yamaguchi-u.ac.jp/>